

平成29年度第65回 防衛大学校開校記念祭  
防衛副大臣訓示

防衛大学校第六十五回開校記念祭の記念式典にあたり防衛副大臣として一言申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しております。私自身このような情勢において「しっかり対応してほしい」という国民の期待を日々強く感じているところであります。防衛省・自衛隊は我が国の平和と独立を守るといふ国家存立にとって最も基本的な役割を担う重要な組織であり、この任務を強い使命感を持ってひたむきに遂行しているのは最前線の自衛隊員であります。将来、幹部自衛官としてこのような自衛隊員の先頭に立ち職責・任務を果たすためには安全保障における専門性はもとより社会情勢、国際情勢、科学技術動向などにわたる幅広い識見や多様な部下を統率する人間力が必要です。諸君はそのような資質を培うべく、ここ小原台において日々厳しい勉学、訓練、交友会活動に全力でいそしんでいることと存じます。また留学生諸君におかれは日本の学生と苦楽を共にし、お互いの絆を深め将来、母国と日本との懸け橋となつていただくとともに本国で大いに活躍できるように日々の鍛錬に励んでいただくことを希望いたします。

本日、開催されている開校記念祭は国民の負託に応えるべく精励している諸君の日々の努力の一端を多くの皆様に実際に見ていただくとともに国民からの期待を実感する貴重な機会です。そして明日以降、一層身を引き締め立派な幹部自衛官になることを目指していただくことを期待しております。

最後になりますが國分学校長をはじめとする教職員各員におかれましては日頃より多大なる熱意と情熱をもって学生教育に尽力されていることに敬意を表するとともに引き続き前途有為な学生諸君の指導に誠心誠意あたられるよう希望し私の訓示といたします。

平成29年11月12日  
防衛副大臣 山本 ともひろ